

(第5回)

技術ベンチャー叢成ワークショップ

技術開発指向型ベンチャー企業の叢出と自立と成長

□ 第5回目のプレゼンターからの問題提起

## 技術系ベンチャーの起業と再生について

VC経験をもとに大学発ベンチャーなど技術系ベンチャーの起業や再生の支援を実践してきた立場から、成功と失敗事例を踏まえ、ベンチャーに必要な要素を考える

往西 裕之 氏 テクノロジーシードインキュベーション(株) 代表取締役

- 日時:2016年5月23日(月) 18:30~20:30 (講演60分、意見交換60分)
- 場所:東京理科大学(神楽坂キャンパス)理窓会館第1会議室  
(〒162-0825 新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂6階 アクセス 裏面参照)
- 参加費:会員1,000円、非会員2,000円
- 定員:最大35名(定員になり次第締め切ります)
- 申込方法:FAX(03)6276-2424) またはEメール(office@jpmot.org)にて、  
氏名、所属、住所、電話番号、Eメールを明記して、お申し込み下さい。

### 主催者日本開発工学会からのメッセージ

本会は「ビジネスの創造に関するすべての事柄を研究しようとする学会です」。余田幸雄会員の働きかけにより、「日本では新しい技術指向のベンチャー企業がなぜ成長しない」との課題に、1年近くの準備会合での意見交換を経て、ワークショップという形式で取り組むこと致しました。

ワークショップは、問題意識を会員以外にも共有して頂けるような、多様な方々からの報告を何うオープンなものとし、課題の整理を行い提言に繋げる活動を目的とすることと致しました。

ワークショップ事務局責任者 大橋克巳

### コーディネータからのメッセージ

1970年頃の第一次ベンチャーブーム以来、イノベーションの担い手としてのベンチャー企業は市民権を得るに至っていますが、技術開発指向型ベンチャー、とりわけ実験レベルから実用化まで装置(機器)等を介して先端技術を実用化し事業を成功させようとするベンチャー企業にとってはこの50年間厳しい環境に変化はないと言って過言ではないと思います。我が国でベンチャー企業が活動するにあたり、何が不足しているのか、何が理由で育たないのか、何故成功しないのか。これらの問題を、本ワークショップでベンチャー支援を行ってきた多くのかつ多様な実務家との意見交換を通して浮かび上がらせ、最終的に何らかの形で政策・プラクティスの提言に繋げていきたいと考えております。

コーディネータ 余田幸雄

# 技術ベンチャー叢成ワークショップ ( 第 5 回 )

一般社団法人日本開発工学会

●日時：2016年5月23日月曜日  
18：30～20：30

## ●略歴

### プレゼンター 往西 裕之 氏

1991年中央大学法学部卒業、同年日本アジア投資(株)入社。仙台支店長、事業投資チームリーダー。日本アジア投資時代にベンチャー投資実績50社(タカショー、日本エスリード、マッグガーデン(現IGホールディングス)、SHOEI等)。

2002年、テクノロジーシードインキュベーション株式会社(TSI)を設立、代表取締役役に就任(現)。

TSI設立後、複数の大学発ベンチャーの研究開発資金調達・業務提携などを支援。イオン工学研究所については研究所モデルから事業会社モデルへの転換と再生。再生後の(株)イオンテクノセンター取締役会長に就任(現)。

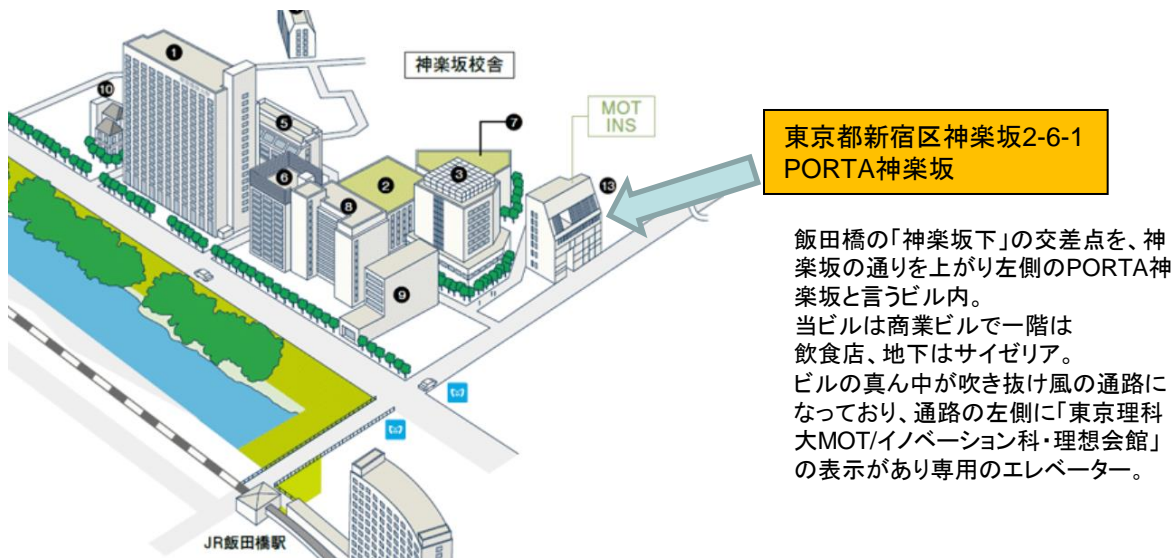
(株)エーディエスについては研究開発型ベンチャー特有の赤字体質から黒字化への再生に成功。

### コーディネータ 余田 幸雄

1973年京都大学法学部卒業。通商産業省入省後1978年に研究開発型企业育成センター(VEC)に関わり、その後幾つかの技術関連部署に勤務。1997年6月JETROサンフランシスコ所長に就任。シリコンヴァレーにおけるJETROインキュベーターの創設や我が国の民間の機関との連携等若手進出の環境整備に関わる。2000年通産省を退職。2007年7月からタスク・ヨダとしてベンチャー企業支援活動を行う。

### ワークショップ事務局責任者 大橋 克巳

1966年一橋大学法学部卒、1966年(株)クラレ(倉敷レーヨン)入社、67年より97年まで繊維事業本部に所属し国内繊維販売に従事、97年総務室長(本社)、98年メディカル事業本部長、99年取締役、2003年常務取締役、04年化学品カンパニー担当、東京事業所長、クラレメディカル(株)担当委嘱、05年業務改革推進チーム担当、購買・物流本部担当委嘱、07年顧問、09年クラレ社友、当学会監事。



<申し込み> 第4回技術ベンチャー叢成ワークショップ(5月23日)と明記の上、下記項目に記入の上、FAXまたはeメール(office@jpmot.org)でお申し込み下さい。

●氏名： \_\_\_\_\_ ●所属： \_\_\_\_\_

●住所： \_\_\_\_\_

●電話番号：(\_\_\_\_) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ ●eメール： \_\_\_\_\_

お申込

FAX：(03)6276-2424  
または office@jpmot.org

一般社団法人日本開発工学会事務局  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-57-2  
ドルミ代々木704号 一般財団法人アーネスト育成財団内  
(03)6276-6260 FAX(03)6276-2424